



年明け早々、東京で雪が積もりました。この雪による都内センターでの転倒事故は、1月末までに既に約40件に達しています。足元に気を付けながら、《道端に雪をよけるために道幅が狭くなる》《樹木に雪が覆いかぶさって景色が見えにくくなる》《雪が音を吸収するため周りの変化に気づきにくくなる》など周囲の変化にも注意して、行動しましょう。

発行:

公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

* * 雪の日や降った後 気を付けること



こんなところが凍りやすく滑りやすい場所です

- * 横断歩道（特に白線の部分に注意）
- * 車の出入りのある歩道（駐車場や店など）
- * 地下鉄や地下街の出入口
- * バスやタクシーの乗り場
- * 橋の上（人も車も）

いつも通っている歩道でも、傾斜のあるところは**きけん!**

この他、こんな場所も気を付けて

駅の階段、電車の中の床、タイル張りの通路

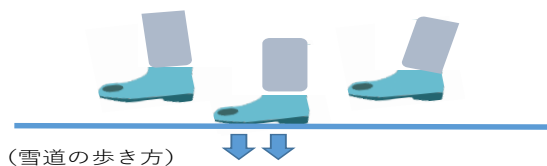


滑りやすいのはこんな時

- * 急いでいる
- * ポケットに手を入れて歩く
- * 両手がふさがっている
- * 何かに気を取られている
- * 雪道に合わない靴を履いている



雪道や凍った道の歩き方



(雪道の歩き方)



(普通の歩き方)

- * 小さな歩幅で、そろそろと
- * やや前かがみで、前をみる
- * ひざをほんの少し曲げて、
重心は前に
- * 足裏を地面に垂直にして、
靴の裏全体で踏みしめる
- * ツルツルの道は、すり足で